

ズッキーニの花収穫における品種特性

誌名	東北農業研究
ISSN	03886727
著者	澤里, 昭寿 山村, 真弓
巻/号	63号
掲載ページ	p. 139-140
発行年月	2010年12月

ズッキーニの花収穫における品種特性

澤里昭寿・山村真弓

(宮城県農業・園芸総合研究所)

Varietal Differences in the Yield and the Freshness Retention of Zucchini flowers

Akitoshi SAWASATO and Mayumi YAMAMURA

(Miyagi Prefectural Institute of Agriculture and Horticulture)

1 はじめに

ズッキーニ（ウリ科カボチャ属）の日本国内での一般的な利用部位は果実であるが、開花日の早朝に雄花、雌花を収穫して調理に利用する方法も知られている。

ここでは、宮城県内においてズッキーニの品種の違いが花生産に及ぼす影響と流通過程で課題となる鮮度保持性について検討した。

2 試験方法

(1) 供試品種

(果実形態－果皮色：品種名)

1) 中長型－黄色：ゴールドトスカ、オーラム

－緑色：グリーントスカ、ブラックトスカ（濃緑色）、ダイナー

2) 丸型－黄色：ゴールド

－緑色：グリーンエッグ、ブラッグエッグ

(2) 耕種概要

1) 播種、定植

平成21年3月27日に水稲育苗トレイに播種。子葉展開後、3号ポリポット(市販育苗培土)で育苗。4月20日パイプハウス内に定植。

2) 栽植密度

ベッド幅100cm、通路幅80cm、株間80cm (60株/a)、シルバーマルチ使用

3) 施肥量

1 a 当たりN－1.0kg、P₂O₅－1.0kg、K₂O－1.0kg

(3) 調査項目

1) 生産量品種間比較

1日毎の収穫花数及び1花重量を雄花と雌花に分けて調査した。

調査期間は収穫開始から7月10日までとした。

2) 鮮度保持性

収穫直後のズッキーニの花をポリ袋に密封してインキュベーター内（暗黒、温度一定）に保存し、萎れるまでの日数を達観調査した。

3 試験結果及び考察

(1) 生産量の品種間比較

収穫開始日は供試した8品種すべて5月18日であった。

1株1日当たりの収穫花数は、中長型ではオーラムの全花数が多く、ブラックトスカは雌花が多かった。ゴールドトスカ、ダイナーが少なかった。丸型では、ゴールドは全花数が多く、グリーンエッグは雌花が多かった(表1、2)。

1花平均重量は、中長型では雄花、雌花ともにグリーントスカが重く、丸型ではブラックエッグが重かった(表1、2)。

また、収穫花総数の多い品種は、旬別の収穫花数の変動が小さく、収穫総数の少ない品種は6月上旬以降の収穫花数が伸びなかった(図1、2)。

(2) 鮮度保持性

収穫後の萎れ程度に品種間差はなく、10℃保存は5日、15℃保存は24時間で完全に萎れた。4℃保存では5日後でも萎れは少なかった(図3)。

以上より、宮城県内において3月下旬播種のズッキーニは5月中旬以降から花が収穫できた。オーラム、ゴールドは株1日当たり収穫花総数が多く、ブラックトスカ、グリーンエッグは特に雌花の数が多かった。グリーントスカ、ブラックエッグは雄花、雌花とも1花重量が重かった。花の収穫後は、10℃保存は5日、15℃保存は24時間で完全に萎れるため、到着先までの輸送時間を考慮した出荷対策が必要と考察された。

4 まとめ

ズッキーニの花収穫について、供試した8品種の株1日当たり収穫花数と1花平均重量を比較したところ、オーラム、ゴールドは収穫花総数が多く、グリーントスカとブラックエッグは雌雄花とも1花重量が重かった。花の収穫後の萎れ程度は品種間差がなく、10℃保存は1日、4℃保存は5日間開花直後の形状を維持した

表1 収穫花数と1花重量の品種間比較(中長型)

品種	株1日当たり収穫花数			1花平均重量(g)	
	雄花	雌花	全花数	雄花	雌花
中長-黄色 ゴールドトスカ	0.6	0.4	1.0	12.0	23.3
オーラム	1.0	0.7	1.7	11.6	25.6
グリーントスカ	0.6	0.7	1.4	12.6	28.9
中長-緑色 ブラックトスカ	0.7	0.8	1.6	11.6	24.9
ダイナー	0.3	0.6	1.0	10.9	25.6
平均	0.64	0.66	1.30	11.71	25.65
標準偏差	0.243	0.151	0.326	0.620	2.025
SE: 標本標準誤差	0.109	0.067	0.146	0.277	0.906
90%CI	0.85~0.44	0.78~0.53	1.58~1.02	12.24~11.19	27.36~23.93

*全花数: 雄花+雌花

*90%CI: 90%信頼区間 (=Ave±1.895×SE)。下線は有意差ありと判断された数値

表2 収穫花数と1花重量の品種間比較(丸型)

品種	株1日当たり収穫花数			1花平均重量(g)	
	雄花	雌花	全花数	雄花	雌花
丸型 ゴールディ	1.3	0.7	2.0	9.1	25.0
グリーンエッグ	0.4	1.2	1.7	10.0	25.1
ブラックエッグ	1.0	0.6	1.6	13.8	28.5
平均	0.90	0.87	1.76	10.96	26.20
標準偏差	0.416	0.331	0.190	2.518	1.971
SE: 標本標準誤差	0.240	0.191	0.110	1.454	1.138
90%CI	1.35~0.44	1.23~0.50	1.97~1.56	13.72~8.21	28.36~24.04

*全花数: 雄花+雌花

*90%CI: 90%信頼区間 (=Ave±1.895×SE)。下線は有意差ありと判断された数値

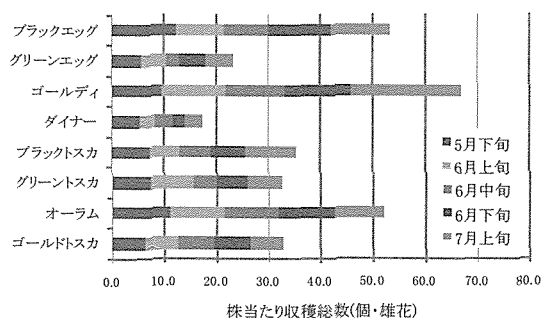


図1 旬別収穫総数(雄花)

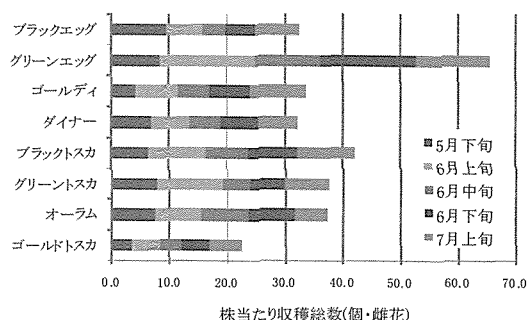


図2 旬別収穫総数(雌花)

表3 保存温度, 日数と花形状

	12時間	24時間	5日
室温	-	-	-
15℃	+	-	-
10℃	+	+	-
4℃	+	+	+

+ : 形状維持 - : 萎れた状態

*萎れ程度に品種間差はなかった

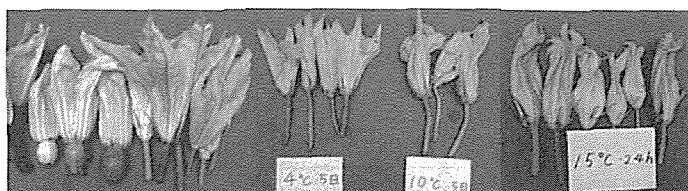


図3 保存温度と形状

(左から, 収穫直後, 4℃・10℃5日保存, 15℃24時間保存)